

1 国語

*** 開始の合図があるまで、開いてはいけません ***

試験が始まるまで、下の〔注意すること〕を読んでおいてください。

〔注意すること〕

- 問題用紙のページは13ページまでです。 解答用紙が1枚あります。
- 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 試験時間は、45分です。
- 印刷の見えにくい場合やページがぬけている場合は知らせてください。
そのほかの場合は、質問を受けません。
- 必要なものは、えんぴつ、消しゴム です。

※問いに字数制限がある場合は、句読点等をふくみます。

□ 次の問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の――線部について、カタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

- ① ニンキ満了まんりょうにともなう市長 ② センキヨが二十三日 ③ 告示され、
無所属の ④ 現職と新人合わせて三人が立候補した。来月九日に
⑤ トウヒョウが行われる。

問二 次の①・②の文の空らんに入る漢字として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

① この町はとも が合わないので、ひっこししたい。

- ア 馬 イ 水 ウ 気 エ 息

② この資料に目を通すだけでも、なかなか が折れる。

- ア 骨 イ 筆 ウ 腰 エ 鼻

問三 次の①～④の四字熟語の空らんに入る数字をすべて足した数を、解答らんには算用数字で答えなさい。

(算用数字の例…1、2、10、20など)

- ① 挙両得
② 三寒 温
③ 戦練磨
④ 四苦 苦

問四 次のAさんとBさんの会話を読み、空らんに当てはまる最も適切なことわざを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

Aさん あつ、しまった！ また宿題を忘れた。
Bさん 先生、さすがに怒るんじゃない？ って言うし。

- ア 二度あることは三度ある
イ 仏の顔も三度
ウ 地獄で仏
エ 三度目の正直

コインロッカーの利用案内

- 1 取扱時間
24 時間
- 2 使用料金
300 円
- 3 使用期間
4 日以上の利用はできません。
※荷物は 3 日以内に **ア** お引き取りください。
- 4 使用期間の経過
4 日以上経過した収容品は、規定により
当社所定の場所に **イ** 保管させていただきます。
- 5 保管荷物
前項により当社が保管する物品は、30 日
を過ぎると規定により警察に送られます。
- 6 鍵の紛失
直ちに下記連絡先まで **ウ** お申し出ください。
※交換費用として 2,000 円 **エ** いただきます。

安田 駅 082-xxxx-xxxx

問五 次の資料を読んで、敬語の使い方が適切でないものを、
部ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。——線

二 次の文章は宇宙開発について書かれた文章の一部である。後の問いに答えなさい。

地球には人類をはじめ、たくさん生き物がいます。地球上にいる生き物は、巨大なものから目に見えない小さな細菌まで、知られているものだけでも175万種ほどです。一方、宇宙に目を向けると、生命の存在が確認されている天体は今のところ地球だけです。地球の生命は宇宙の中で(①)存在なのでしょうか。

地球以外の天体で生命を探す研究はこれまででもたくさん人が挑戦してきました。これまでで一番探査が進んでいるのは、地球の隣の惑星である火星です。実は19世紀に(②)「火星人がいる」という説が唱えられ、その説を多くの人たちが信じたこともありました。

火星人存在説を唱えたのは、アメリカの文化人パーシバル・ローウエルです。当時、火星の表面に複数の模様があることが知られていました。これを「誰かがつくった運河だ」と信じ、「火星人がいる！」と主張したのです。この主張は多くの人たちの関心を集め、火星人が地球に攻めてくるSF小説が書かれたりもしました。しかし、当時の天体観測の技術では、火星の生命をくわしく調査することはできませんでした。

1960年代に入ると、火星に探査機が送りこまれ、火星を近くから観察できるようになりました。その結果、火星の表面に運河はなく、火星人も発見されませんでした。探査機が写した火星は、表面に砂嵐が吹き荒れる、生命の存在がまったく感じられない荒涼とした世界だったのです。

a、火星には生命が存在する可能性がまったくないのでしょうか。実は(③)そうでもありません。確かに、火星人のような知的生命体や大きな生命がいる可能性はないのですが、肉眼では見えないような小さな生き物がいる可能性は残されています。火星にはこれまでたくさん探査機が送りこまれ、表面を調査する「マーズ・ローバー」という探査車両も活躍してきました。時間をかけて火星をよく調べるうちに、火星の表面には大昔には海が存在していたと考えられるようになってきたのです。さらに、火星の地下には水や氷がある証拠がいくつも発見されています。

天体に生命が誕生するためには、「液体の水」「有機物」「エネルギー」の3つの要素が必要だといわれています。

(④)もつとくわしく天体の特徴を調べるため、現在、NASA(アメリカ航空宇宙局)とESA(ヨーロッパ宇宙機関)は火星から岩石などの試料(サンプル)を地球に持ち帰る「火星サンプルリターン計画」を進めています。「サンプルリターン」はこれまでも月や小惑星などでも行われ、岩石などを持ち帰ってきました。しかし、(⑤)火星の岩石はまだ誰も手にしていません。「火星サンプルリターン計画」は3段階に分かれています。まずは2021年、第1段階として火星探査車「パーサビアランス」が火星の岩石採取に成功し、火星のサンプルを容器に入れました。

第2段階は、サンプル入りの容器を火星着陸機「SRL」に乗せて、小型ロケット「MAV」で火星の周回軌道へと打ち上げる予定です。火星の周回軌道にはESAの地球帰還機「ERO」が待ち構えています。

第3段階では、MAVからEROに火星のサンプルが渡され、地球へ運ばれます。火星上でのサンプルの回収方法など細かい調整が続けられています。パーサビランスが採取した火星のサンプルは2030年代に地球に到着する予定です。

b、日本は火星の衛星「フォボス」からサンプルを持ち帰る「火星衛星探査計画（MMX）」を計画しています。まずは2026年の探査機打ち上げに向けた準備が進められています。

太陽系の中で生命の存在が期待されている天体は火星だけではありません。最近、火星よりも遠い天体に生命が存在する可能性が出てきました。その代表が土星の衛星「エンケラドス」です。エンケラドスは土星の衛星の中で6番目に大きな天体で、直径は500kmほどです。表面が氷におおわれているため、これまで生命がいるとは思われていませんでした。

c、土星探査機「カッシーニ」の観測から、エンケラドスの表面にできたいくつもの亀裂から氷が噴き出していることが確認され、その中にとっても小さなシリカ（二酸化ケイ素）という物質がふくまれていたのです。なぜこんな小さなシリカができたのか、地上で実験してみると、90℃以上の熱水環境が必要なくなりました。

このことから、エンケラドスの内部には熱い海があるのではないかと考えられるようになったのです。エンケラドスには内部の氷を溶かすエネルギー源があるのです。

また、エンケラドスの噴出物からは、(7)も発見されました。これで生命誕生の3要素である「液体の水」「エネルギー」「有機物」の存在が確認されたこととなります。地球以外でこのような天体が発見されたのは初めてのことです。最近では、エンケラドスの内部海に

は生命に必須な元素である「リン」がたくさんふくまれていることもわかりました。エンケラドスに新しい探査機を送って噴出物をよりくわしく分析すれば、(8)生命が存在する確かな証拠をつかめるかもしれません。

探査機による観測が進んだことで、木星の衛星エウロパ、ガニメデにも内部海があることがわかってきました。ESAと日本のJAXA（宇宙航空研究開発機構）は、木星の歴史やガニメデなどの衛星を調査するため、2023年に木星氷衛星探査機「JUICE」を打ち上げました。JUICEは2030年代に木星周辺に到着し、科学観測をスタートさせる予定です。

（荒船良孝『月に移住!? 宇宙開発物語』による）

問一 a、b、cに入る語として最も適切なものを次のア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア また イ つまり ウ それでは エ ところが

問二 (1)に入る語として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 秘密の イ 孤独な ウ 悲しい エ 優れた

問三 — 線部② 『火星人がいる』という説」が生まれたきっかけは、何ですか。次の空らんにあてはまる言葉を、本文中からそれぞれ十字以上、二十字以内でぬき出して答えなさい。

パーシバル・ローウェルが（ 1 ）を（ 2 ）と思いこみ、「火星人がいる」と考えて意見を述べたこと。

問四 — 線部③ 「それでもありません」とは、どういうことですか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 火星に生命が存在することがわかった。
- イ 火星に生命が存在しないことがわかった。
- ウ 火星に生命が存在する可能性はない。
- エ 火星に生命が存在する可能性はある。

問五 ④ にあてはまるように、次のア～ウを並べなさい。

- ア ですから科学者たちは、まず液体の水がある場所を探し、生命がいる証拠を探そうとしています。
- イ なかでも液体の水があることはとても重要で、物質の合成など、複雑な化学反応を進めることができます。
- ウ こうした水は生命が生まれる場所となります。

問六 — 線部⑤ 「火星の岩石はまだ誰も手にしていません」とありますが、なぜですか。理由として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 火星の岩石を地球に持ち帰るためには、複数の段階をふむ必要があります、手間も時間もかかるから。
- イ 火星人の存在が信じられていたため、岩石を持ち帰ることに危険を感じて挑戦しなかったから。
- ウ 火星は月や小惑星よりはるかに遠く、探査機がたどりつくことが非常に困難であったから。
- エ 火星の表面温度がとても低いうえに、表面には砂嵐が運んだ砂があり岩石がとれなかったから。

問七 次の表は、火星サンプルリターン計画をまとめたものです。

(1) に入れるのに適切な内容を、それぞれ指定字数でぬき出して答えなさい。1は五字以内、2は十五字以内、3は二字とします。

段階	内容
第1段階	(1) を採取。
第2段階	(1) の入った容器を (2) 。
第3段階	容器を (3) して地球に持ち帰る。

問八 — 線部⑥ 「エネルギー源」とありますが、エンケラドスに

ついて説明した次の参考資料の中から、「エネルギー源」となっているものを五字以内でぬき出して答えなさい。

参考資料

エウロパと同じように表面が凍こおっていて、なかが液体の水であることも驚おどろきでしたが、単なる水ではなく、こういふ複雑な物質が一緒に噴き出していることは、とても衝撃しょうげき的な発見でした。

その後の研究から、おそらくエンケラドスの内部には海底火山があつて、それが熱を出すことで内部が溶とけて液体となつているのだらうということがわかってきました。またこの海底火山からはいろいろな複雑な物質が出ていて、それらが水と混まざつたものが間欠泉として宇宙空間に噴き出しているのだと考えられています。

ところで海底火山は地球にもあつて、特に海底から熱水が噴き出している場所を熱水噴出孔ふんしゅつこうとよびます。

実は、地球上で最初に生命が誕生したのはこの熱水噴出孔ではないか、と考かんえている人たちがいます。地球上での生命誕生については、まだはつきりとした定説があるわけではありませんが、熱水噴出孔は生命の誕生の場として、最有力とされている環かん境のひとつです。

(佐々木貴教)

『地球以外に生命を宿す天体はあるのだろうか?』による

問九 (⑦) に入る語を、本文中から五字以内でぬき出して答えなさい。

問十 — 線部⑧ 「生命が存在する確かな証拠をつかめるかもしれませんが」とありますが、「エンケラドス」に生命が存在する可能性があると考えられている理由を、六十字以上、七十字以内でまとめなさい。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

高校時代に甲子園に出場経験のある加藤徹夫は、息子の智が小学校に入学したときに結成した野球チームの監督をしている。智の小学校卒業が迫り、この日がこのチームでの最後の試合となった。妻の佳枝も応援にかけつけたものの、智はレギュラーメンバーとして活躍する実力はなく、背番号16をつけてベンチで仲間を応援するだけだった。その試合でチームは惨敗し、徹夫の監督業もここまでとなった。一方、娘の典子は中学二年生だが「がんばってもしかたがない」と言い、塾の模試を無断欠席するなど、何事にもやる気がでないでいた。

ベンチに座って、敵も味方も観客もひきあげたグラウンドをぼんやりと眺めながら、徹夫は煙草を一本吸った。強い風が煙を吹き飛ばしてしまふせいか、煙草はいがらつぽいだけでちっとも味がしない。「おとうさん」隣に座った智が言った。「いいの？ もうすぐ打ち上げ始まつちゃうんじゃない？」

「いいんだ、どうせ先に始めてるさ」

徹夫は笑いながら言って、ゆるんだ頬がしぼまないうちにつづけた。

「智、今日、残念だったな」

「しようがないよ、江藤くん調子悪かったし、向こうのピッチャーすごかったもん」

「いや、そのことじゃなくてさ……おまえのこと、試合に出せなくて……」

「いいってば」

声は明るかったが、顔はさつきと同じようにうつむいてしまった。徹夫と反対側の隣に座った佳枝が、智の肩越しにこっちを見ていた。目が合うと、しようがないわよ、と小さくうなずく。

典子は朝食を終えると、自転車で遊びに出かけたらしい。仲良しの友だちは皆、塾の模試を受けているのに、誰とどこで遊ぶつもりなのだろう。あてもなく自転車を走らせ、暇をつぶすだけのために本屋やCDショップを覗く典子の姿を思い描くと、腹立たしさよりも悲しみのほうが胸に湧いてくる。

がんばれば、いいことがある。努力は必ず報われる。そう信じていられることもは幸せなんだと、いま気づいた。信じさせてやりたい。おとなになって「おとうさんの言ってたこと、嘘だったじゃない」と責められてもいい、十四歳やそこらで信じることをやめさせたくはない。だが、そのためになにを語り、なにを見せてやればいいのか、わからない。

徹夫はフィルターぎりぎりまで吸った煙草を空き缶の灰皿に捨てて、智に訊いた。

「中学に入ったら、部活はどうするんだ？」

答えは間をおかずに返ってきた。

「野球部、入るよ」

① 佳枝が、「今度は別のスポーツにしたら？」と言った。「ほら、サッカーとかテニスとか」

だが、智には迷うそぶりもなかった。

「野球部にする」

「でもなあ、レギュラーは無理だと思うぞ、はっきり言って」

「うん……わかってる」

「三年生になっても球拾いかもしれないぞ。そんなのでいいのか？」
「いいよ。だって、ぼく、野球好きだもん」

智は顔を上げてきつぱりと答えた。

①瞬間言葉に詰まったあと、②徹夫の両肩から、すうつと重みが消えていった。頬が内側から押されるようにゆるんだ。

③拍子抜けするほどかんたんな、理屈にもならない、忘れかけていた言葉を、ひさしぶりに耳にした。

徹夫は、ベンチから立ち上がった。

「ピンチヒッター、加藤！」

無人のグラウンドに怒鳴り、智のグローブを左手につけた。

「どうしたの？ おとうさん」

「智、バット持って打席に入れ」

「はあ？」

「ほら、早くしろ」

智の返事を待たずに、試合で使わなかったまっさらのボールをグローブに収め、マウンドに向かってダッシュした。

智がケースからバットを出す。佳枝も立ち上がって、「やだあ、埃（ほこり）すごいねえ」と風にあおられる前髪（まえがみ）を手で押さえながら、とことごとグラウンドに出てきた。

徹夫は苦笑（くしやう）交（まじ）りにグローブを佳枝に放った。佳枝はそれを両手で胸で受け取り、「どのへんで守ればいい？」と訊いた。

「もつと、ずーつと後ろだ」

「そんなに飛ぶ？」

「あたりまえだろ、ホームラン、出るかもしれないぞ」

佳枝は「なに言ってるの」と笑ったが、④可能性がないわけではな

い。風はホームベースから外野に向かって吹いている。智のアップパーシングなら、うまくいけば――千発打って一発の割合だろうが、風に乗って外野の頭を越えることもありうる。それを親が信じてやれなくて、誰が信じるというんだ……。

はにかんだ様子で何度か素振りをした智は、小さく一礼して打席に入った。

「三球勝負だぞ」

「うん……」

「内角球を怖がるな、後ろに下がると外角低めについていけないぞ」

「はい……」

「返事が違うだろ、腹に力を入れて」

「オッス！」

「よし、そうだ。ボールを最後まで見て、くらいつくようにして振るんだぞ、いいな」

「オッス！」

徹夫はマウンドの土を均し、ボールをこねて滑りを止めた。たとえぼ山（やま）なりのスローボール、そんなものを投げるつもりはない。レギュラー組の打撃練習のときと同じように、速球を投げ込んでやる。それが、⑤野球が大好きな少年に対する礼儀だ。

ワインドアップのモーションで、投げた。ど真ん中だったが、智は空振りした。完全な振り遅れで、バットとボールも大きく隔たっている。ボールを拾いに行く背番号16に、「しっかり見ろ！」と怒鳴った。

二球目も空振り。外角球に上体が浮いた。

「腰が据わっていないからダメなんだ、いつも言ってるだろう！」

智は半べその顔で「オッス！」と返す。叱られて悲しいんじゃない、

⑥、と伝えるように、徹夫に投げ返す球は強かった。

最後の一球だ。手は抜かない。内角高めストレート。

智はバットを思いきり振った。

快音とまではいかなかったが、たしかにボールはバットにあたった。

フライが上がる。ビュンと音をたてて、強い風が吹いた――が、打球は風に乗る前に落下しはじめ、佳枝の手前でバウンドした。

⑦「ホームラン！」

佳枝がグローブをメガホンにして叫んだ。「智、いまのホームランだよ！ ホームラン！」と何度も言った。

徹夫も少しためらいながら、右手を頭上で回した。打席できよんとする智に、ダイヤモンドを一周しろと顎で伝えた。

だが、智は納得しきらない顔でたたずんだまま、バットを手から離さない。徹夫をじつと見つめ、徹夫もまっすぐに見つめ返してくるのを確かめると、帽子の下で白い歯を覗かせた。

⑧「おとうさん、いまのショートフライだよね」

来月から中学生になる息子だ。

あと数年のうちに父親の背丈を抜き去るだろう。

徹夫は親指だけ立てた右手を頭上に掲げた。アウト。一打数ノーヒットで、智は小学校を卒業する。

不満そうな佳枝にかまわず、徹夫はマウンドを降りた。ゆっくりと智に近づいていき、声が届くかどうかぎりぎりのところで、「ナイスバッティング」と言った。

聞こえなかったようだ。智はスローモーションのようにバットを振って、ダウンスイングの練習をしていた。

「智、家に帰って荷物置いてから打ち上げに行こう」

「うん……いいけど？」

「帰ろう」

野球のルールをつくったのはアメリカの誰だったろう。いや、イギリス人だっただろうか。野球の歴史など徹夫は何も知らないが、ホームベースという言葉をつくった誰かさんに「ありがとう」を言いたい気分だった。

家――だ。野球とは、家を飛び出すことで始まり、家に帰ってくる回数を競うスポーツなのだ。

バックネット上に停めた自転車に向かって、智と並んで歩いた。なにも話さなかった。黙ったまま、帰ればいい。玄関には、智より先に入るつもりだ、「お帰り！」と声をかけてやる。ホームインの瞬間を見届けてやる。

少し遅れて歩いていった佳枝が、「あ」と土手のほうを向いて声をあげた。「あなた、ほら、やっぱり来てる」

知らん顔しておいた。

いまなら、なにかを⑨あいつに話してやれるかもしれない。納得はしないだろうが、伝えることはできるだろう。

だが、それはすべて家に帰ってからのことだ。

四人で帰ろう。

先制点なのか、追加点になるのか、劣勢に立たされての四点かはわからないけれど。

⑩家族みんな、ホームインしよう。

(重松清『卒業ホームラン』による)

問一 — 線部① 「佳枝が、『今度は別のスポーツにしたら?』と言

った」とありますが、佳枝がこのように言ったのはなぜですか。
二十字以上、三十字以内で説明しなさい。

問二 — 線部② 「徹夫の両肩から、すうっと重みが消えていった」

とありますが、徹夫が抱いていた「重み」とは何ですか。その説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 息子に野球の良さをなんとか説明したかったが、チームの監督としての思いが邪魔をしたことへの後悔。

イ 息子に試合で活躍してほしいと思う反面、実力が足りず試合に出してやれないことへの後ろめたさ。

ウ 息子は他のスポーツに興味があったのに、自分が好きな野球を無理にさせたことに対する申し訳なさ。

エ 息子にも野球を楽しんでほしかったが、チームを強くするためつらい練習を取り入れたことへの心苦しき。

問三 — 線部③ 「拍子抜けするほどかたんな、理屈にもならな

い、忘れかけていた言葉」とは何ですか。十字以内でぬき出して答えなさい。

問四 — 線部④ 「可能性がないわけではない」とありますが、これ

と同じ意味の部分を、十字以内でぬき出して答えなさい。

問五 — 線部⑤「野球が大好きな少年に対する礼儀」とありますが、智ちに対していただいている、このときの徹夫の気持ちを、二十文字以上、三十文字以内で説明しなさい。

問六 ⑥にあてはまる内容として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア あと一球で終わりののが悲しいんだ
- イ 打てないのが悔しいんだ
- ウ お父さんと練習できて嬉しいんだ
- エ 今日は調子が悪いからもどかしいんだ

問七 — 線部⑦「ホームラン!」、⑧「おとうさん、いまのショートフライだね」について、三人の生徒が話しています。適切な解釈かいしゃくをしている発言を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

安子さん	本当はショートフライだったのに、お母さんはどうしてホームランだと言ったのかな。
梅子さん	ア お母さんは、智が思いきりスイングしてバットに当たることができたから、これまでの努力を認めて「ホームラン」と言っただけだと思っただけだ。
桜子さん	イ 試合に出られなかったけど、チームを卒業するのにふさわしいバッティングが両親の前でできて、智は最高の気分でしょうね。
安子さん	ウ 徹夫は、妻が野球のことを知らなくてショートフライを「ホームラン」と言ってしまったのを傷つけないように、智に走るように指示しているよ。
桜子さん	エ 智は、自分の打った打球がただのショートフライだとわかっていて、事実とちがうことを言わない少年なんだという印象をもったよ。

問八 — 線部⑨「あいつ」とありますが、誰のことですか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 智 イ 江藤くん ウ 佳枝 エ 典子

問九 — 線部⑩「家族みんなで、ホームインしよう」とは、どのようなことを表していますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 野球はホームをふむ数を競う面白いスポーツなので、その面白さをつくった誰かに家族でそろって感謝したいという徹夫の気持ち。
- イ 家族はいつでもチームプレーをしており、遠くに住んでも、自分たち家族は一つのチームであり続けるのだという徹夫の気持ち。
- ウ 野球で用いる「ホーム」という言葉に、家族を迎え入れる「家」の意味を重ね、家庭というもののありがたさに気づいた徹夫の気持ち。
- エ 自分から声をかけるために、早く家に帰らなければならないとあせるが、せっかくなので家族そろって家に帰ろうと思いき直す徹夫の気持ち。

問十 この文章に登場する人物の考え方を説明したもののうち、適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 徹夫は、「がんばればいいことがある」と教えたものの示し方がわからないでいたが、息子の成長を目の当たりにした今、前向きに子どもたちに話そうと思いつけている。
- イ 徹夫は、智の野球の実力を見ぬいており、いくらがんばってもレギュラーにはなれないと思っているが、努力し続ける息子の姿を見て、静かに見守っている。
- ウ 智は、野球をがんばり続けることにいいことがあるかどうかということを考えているわけではなく、自分の思いにしたがって、一生懸命に野球に向き合っている。
- エ 佳枝は、がんばってもいいことがあるかどうかかわからないが、息子の友達のように人から認められることもあるから、息子にももつとがんばってほしいと考えている。

